

5 幼小連携部会	部会テーマ	架け橋期の教育実践 ～私が変わる、子どもが変わる～
内 容	架け橋期の子どもたちが主体的に自己を発揮しながら学びに向かうようにするためには、幼小の教職員が互いの教育について理解した上で指導を工夫する必要がある。そこで、本部会では、架け橋期の教育について学んだ教職員が、何に気付き、どのような指導の工夫をしたのか、またその実践により子どもたちにどのような変容が見られたかについて紹介し、架け橋期の教育の在り方について考える機会とする。	
部 会 担 当	大坪 孝弘（総合教育センター）	指導助言者 大豆生田啓友（総合教育センター）

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

説明 架け橋期の教育の充実

15時30分～15時35分

総合教育センター幼児教育部 大坪 孝弘

架け橋期の子どもたちが主体的に自己を発揮しながら学びに向かえるようにすることが求められている。幼小の教職員が架け橋期の教育を充実させることの重要性について提案する。

発表① 遊びでつなぐ架け橋期

～楽しいはひらめきの宝箱～

15時35分～15時55分

栃木市いわふね保育園 武田 安里

「架け橋期の子どもたちと一緒に、保育士は何ができるのだろうか？」幼小接続推進者として1年間学び、自身の保育を見直した。ここでは、保育観の変化から保育スタイルを大きく変え、それによって見られた子どもたちの変化について、その実践を紹介する。

発表② 架け橋期における教育のつながりを考える

～主体的な活動や経験をつなぐ～

15時55分～16時15分

高根沢町立阿久津小学校 末廣 亜希子

架け橋期の教育について、幼児教育と小学校教育がどのようにつながっていくことが望ましいのか、研究や実践を重ねて探ってきた。ここでは、幼児期の主体的な学びを小学校教育につなぐための取組について、その実践を紹介する。

質疑等

16時15分～16時25分

指導助言

16時25分～16時40分

総合教育センター幼児教育部 大豆生田啓友